

新型コロナウイルス感染症により  
消費行動に大きな影響が見られた主な品目など  
- 2022年11月分 -

新型コロナウイルス感染症により、消費行動に大きな影響が見られた主な品目などを挙げると、以下の表のとおりとなっている。

なお、実質増減率は、新型コロナウイルス感染症などの影響がある2021年ではなく、2019年との比較とした。

表 2022年11月の消費行動に大きな影響が見られた主な品目など  
(新型コロナウイルス感染症などの影響がない2019年との比較)

(%)

品目	2022年11月		(参考) 2022年10月	
	対2019年同月 実質増減率	寄与度	対2019年同月 実質増減率	寄与度
食料				
Pasta	3.8	0.00	6.6	0.00
生鮮肉	0.2	0.00	4.9	0.10
冷凍調理食品	22.8	0.05	18.9	0.05
チューハイ・カクテル	14.0	0.02	20.8	0.02
食事代	11.7	0.47	4.0	0.14
飲酒代	45.1	0.28	25.2	0.12
被服及び履物				
婦人服	50.4	0.08	7.7	0.01
保健医療				
保健用消耗品 マスク、ガーゼを含む。	86.2	0.24	98.0	0.23
交通・通信				
鉄道運賃	14.2	0.10	8.0	0.05
バス代	33.4	0.04	28.8	0.03
タクシー代	12.7	0.02	22.5	0.03
航空運賃	1.2	0.00	45.1	0.14
有料道路料	32.3	0.09	14.3	0.04
ガソリン	7.0	0.13	5.2	0.09
教養娯楽				
宿泊料	30.3	0.23	52.6	0.30
バック旅行費	50.3	0.69	27.8	0.30
映画・演劇等入場料	5.8	0.01	6.2	0.01
文化施設入場料	2.1	0.00	20.7	0.01
遊園地入場・乗物代	30.8	0.03	113.1	0.06
その他の消費支出				
ファンデーション	2.6	0.00	4.2	0.00
口紅	45.5	0.02	27.1	0.01
(参考) 消費支出	1.3	-	2.7	-
(参考) 消費支出(除く住居等 <sup>注)</sup> )	1.4	-	4.6	-

注) 「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」(いずれも用途分類の金額)を除いている。

\* 2019年10月は消費税率引上げ(8%→10%)の直後であるため、一部の品目では駆け込み需要の反動による消費縮小の影響が含まれることに留意が必要である。